



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 林兼産業株式会社
 コード番号 2286 URL <http://www.hayashikane.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 熊山 忠和
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長 (氏名) 小野 康之
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 083-266-0210

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	21,782	1.6	481	△11.5	545	△12.9	402	1.6
30年3月期第2四半期	21,448	△7.0	544	△5.2	626	7.5	396	△10.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 907百万円 (139.9%) 30年3月期第2四半期 378百万円 (△53.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	45.22	—
30年3月期第2四半期	44.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	32,625	8,527	23.6
30年3月期	29,246	7,718	23.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 7,713百万円 30年3月期 6,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	10.00	10.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,300	7.0	660	△34.9	830	△27.9	560	△31.5	62.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	8,910,000 株	30年3月期	8,910,000 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	7,044 株	30年3月期	7,044 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	8,902,956 株	30年3月期2Q	8,903,038 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(追加情報)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く緩やかな回復基調で推移いたしました。食品業界におきましては、販売競争が激化するなか、物流費などのコスト増加に加え、人手不足が深刻化するなど厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは本年4月からの2ヵ年を事業基盤の確立の期間として「第四次中期経営計画」(2019年3月期～2020年3月期)を策定し、スタートさせました。「前進～次のステージへ」をテーマに、「収益基盤」「財務基盤」「経営基盤」の安定化を図り、持続的な成長を可能とする事業基盤の確立に取り組んでおります。

「収益基盤」については、機能性食品の増産対応や加工食品工場の最適生産体制を構築するとともに、投資効果の検証などを通じて収益体制の確立に取り組んでおります。

「財務基盤」については、有利子負債や在庫の圧縮による財務改善を図っております。

「経営基盤」については、コーポレートガバナンスを更に強化し継続的な企業価値向上を図っております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、養魚用飼料や機能性食品の売上が増加したことなどにより217億82百万円(前年同期比1.6%増加)となりました。損益面におきましては、原材料価格が高値で推移したことにより営業利益は4億81百万円(前年同期比11.5%減少)、経常利益は5億45百万円(前年同期比12.9%減少)となりましたが、税金費用の減少により親会社株主に帰属する四半期純利益は4億2百万円(前年同期比1.6%増加)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、国内市場が縮小傾向のなか、魚肉ソーセージの主力取引先への販売数量が減少したことにより、減収となりました。

機能性食品におきましては、機能性食品素材「カツオエラスチン」および高齢者向けソフト食「ソフミート」の販売が好調に推移したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は23億58百万円(前年同期比2.0%増加)となりました。損益面におきましては、魚肉ねり製品の主原料であるすり身価格が高値で推移したことにより、セグメント利益(営業利益)は1億47百万円(前年同期比20.0%減少)となりました。

②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、業務用商材の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

肉類におきましては、牛肉の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

調理食品におきましては、販売単価が下落したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は97億66百万円(前年同期比0.1%増加)、セグメント利益(営業利益)は豚肉の利益率が改善したことにより2億9百万円(前年同期比67.7%増加)となりました。

③飼料事業

養魚用飼料におきましては、販売数量が増加したことや、原材料価格高騰に対応した価格改定を行ったことにより、増収となりました。

水産物におきましては、ブリの取り扱い量が減少したことにより、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、養豚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は85億37百万円（前年同期比1.6%増加）となりました。損益面におきましては、原材料価格の高値推移や販売費の増加により、セグメント利益（営業利益）は5億76百万円（前年同期比17.8%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は326億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億79百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比19億円増加）は、主に現金及び預金が10億29百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が24億28百万円、商品及び製品が3億82百万円、原材料及び貯蔵品が2億47百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加（前連結会計年度末比14億78百万円増加）は、主に投資有価証券が7億4百万円、破産更生債権等が6億36百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は240億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億70百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比21億35百万円増加）は、主にその他（未払金）が3億28百万円減少したものの、買掛金が14億10百万円、短期借入金11億20百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の増加（前連結会計年度末比4億34百万円増加）は、主に長期借入金が2億11百万円、その他（繰延税金負債）が2億1百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は85億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億9百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を4億2百万円計上したことや、その他有価証券評価差額金が4億41百万円増加したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は23.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ12億37百万円減少の15億28百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は16億68百万円（前年同期は6億58百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加が13億95百万円、税金等調整前四半期純利益の計上が5億36百万円あったものの、売上債権の増加が32億31百万円、たな卸資産の増加が5億91百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は5億17百万円(前年同期は2億36百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が4億66百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は9億46百万円(前年同期は4億92百万円の増加)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が8億10百万円あったものの、長期借入れによる収入が10億65百万円、短期借入金の純増加額が9億20百万円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移しており、平成30年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,478	1,791,961
受取手形及び売掛金	5,093,870	7,522,520
商品及び製品	1,603,389	1,986,213
仕掛品	1,962,871	1,924,011
原材料及び貯蔵品	1,396,752	1,643,966
その他	323,729	257,733
貸倒引当金	△47,183	△70,655
流動資産合計	13,154,908	15,055,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,599,438	3,500,483
土地	4,216,119	4,216,119
その他(純額)	2,382,729	2,529,890
有形固定資産合計	10,198,287	10,246,493
無形固定資産	28,266	24,257
投資その他の資産		
投資有価証券	4,409,653	5,114,532
破産更生債権等	2,619,890	3,255,908
その他	278,966	263,889
貸倒引当金	△1,443,551	△1,335,069
投資その他の資産合計	5,864,958	7,299,261
固定資産合計	16,091,511	17,570,012
資産合計	29,246,420	32,625,765
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,174,759	4,584,874
短期借入金	8,423,650	9,544,495
未払法人税等	218,148	129,883
賞与引当金	290,785	323,596
環境対策引当金	34,000	—
その他	2,472,909	2,166,673
流動負債合計	14,614,253	16,749,523
固定負債		
長期借入金	2,953,041	3,164,489
退職給付に係る負債	1,974,189	1,951,553
事業整理損失引当金	99,597	36,929
環境対策引当金	25,102	25,102
資産除去債務	50,000	50,000
その他	1,811,451	2,120,302
固定負債合計	6,913,383	7,348,376
負債合計	21,527,636	24,097,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	8,971	8,971
利益剰余金	2,291,392	2,604,960
自己株式	△7,219	△7,219
株主資本合計	5,708,164	6,021,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,290,312	1,732,193
繰延ヘッジ損益	△1,579	2,259
為替換算調整勘定	11,751	11,751
退職給付に係る調整累計額	△61,511	△54,910
その他の包括利益累計額合計	1,238,972	1,691,294
非支配株主持分	771,645	814,837
純資産合計	7,718,783	8,527,865
負債純資産合計	29,246,420	32,625,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	21,448,983	21,782,205
売上原価	17,931,593	18,218,485
売上総利益	3,517,389	3,563,720
販売費及び一般管理費	2,973,387	3,082,060
営業利益	544,002	481,659
営業外収益		
受取配当金	56,857	52,450
その他	142,376	100,382
営業外収益合計	199,234	152,832
営業外費用		
支払利息	103,185	80,718
その他	13,549	8,358
営業外費用合計	116,734	89,076
経常利益	626,502	545,414
特別利益		
固定資産売却益	158	39
特別利益合計	158	39
特別損失		
固定資産廃棄損	6,949	9,315
ゴルフ会員権評価損	11,300	—
特別損失合計	18,249	9,315
税金等調整前四半期純利益	608,411	536,139
法人税、住民税及び事業税	210,001	112,512
法人税等調整額	△9,761	△2,570
法人税等合計	200,240	109,941
四半期純利益	408,170	426,198
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,910	23,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	396,260	402,601

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	408,170	426,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,060	471,170
繰延ヘッジ損益	2,926	3,839
退職給付に係る調整額	8,368	6,600
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△9
その他の包括利益合計	△29,758	481,600
四半期包括利益	378,412	907,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,523	854,923
非支配株主に係る四半期包括利益	15,888	52,875

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	608,411	536,139
減価償却費	381,730	403,046
持分法による投資損益(△は益)	△26,734	△18,766
有形固定資産売却損益(△は益)	△158	△39
有形固定資産廃棄損	6,949	9,315
ゴルフ会員権評価損	11,300	—
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△34,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38,495	△85,009
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,737	32,810
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,020	△16,035
受取利息及び受取配当金	△58,455	△52,782
支払利息	103,185	80,718
為替差損益(△は益)	△5,674	△5,089
売上債権の増減額(△は増加)	△3,703,055	△3,231,483
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246,467	△591,179
仕入債務の増減額(△は減少)	2,202,212	1,395,550
未払金の増減額(△は減少)	253,523	△104,749
未収消費税等の増減額(△は増加)	△3	61,858
未払消費税等の増減額(△は減少)	△158,668	33,658
その他	126,446	147,189
小計	△433,205	△1,438,847
利息及び配当金の受取額	63,222	53,282
利息の支払額	△103,601	△81,170
法人税等の支払額	△184,792	△201,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	△658,376	△1,668,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,001	△220,001
定期預金の払戻による収入	50,000	170,000
有形固定資産の取得による支出	△237,611	△466,528
有形固定資産の売却による収入	3,240	323
無形固定資産の取得による支出	△1,958	—
投資有価証券の取得による支出	△2,455	△9,514
その他	△17,427	8,279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,213	△517,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	700,000	920,000
長期借入れによる収入	790,000	1,065,000
長期借入金の返済による支出	△767,516	△810,530
リース債務の返済による支出	△131,849	△142,725
配当金の支払額	△88,112	△75,518
非支配株主への配当金の支払額	△9,684	△9,684
その他	△103	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	492,733	946,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,155	1,931
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△404,012	△1,237,341
現金及び現金同等物の期首残高	2,090,358	2,765,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,686,346	1,528,059

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月26日 定時株主総会	普通株式	89,034	10.00	平成29年3月31日	平成29年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月25日 定時株主総会	普通株式	89,032	10.00	平成30年3月31日	平成30年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。	

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,311,763	9,760,290	8,404,166	20,476,220	972,763	21,448,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	916	76,819	763,115	840,851	249,503	1,090,355
計	2,312,680	9,837,109	9,167,281	21,317,071	1,222,267	22,539,338
セグメント利益	184,273	124,755	701,523	1,010,553	66,200	1,076,753

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,010,553
「その他」の区分の利益	66,200
セグメント間取引消去	△1,544
全社費用(注)	△531,207
四半期連結損益計算書の営業利益	544,002

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,358,034	9,766,278	8,537,728	20,662,041	1,120,164	21,782,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	814	89,296	745,602	835,714	244,063	1,079,778
計	2,358,849	9,855,574	9,283,331	21,497,756	1,364,227	22,861,984
セグメント利益	147,420	209,190	576,567	933,178	89,008	1,022,187

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	933,178
「その他」の区分の利益	89,008
セグメント間取引消去	3,564
全社費用(注)	△544,092
四半期連結損益計算書の営業利益	481,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。